

モルフェウスの領域

1. 作者について

2006年、『チーム・バチスタの栄光』にてデビュー。以降シリーズ化し、不定愁訴外来の田口公平と、厚生労働省からの刺客白鳥圭輔を軸に、桜ノ宮市にある東城大学医学部附属病院で起こる様々なスキャンダル・殺人事件を暴いていく。作者本人も外科医・病理医を経験、現在は独立行政法人放射線医学総合研究所・重粒子医科学センター・Ai 情報研究推進室室長を務める傍ら、作家業を続けている。

2. 本作の時系列について

『ナイチンゲールの沈黙』（佐々木アツシ5歳）

↓ （アツシ9歳、コールドスリープ開始）

『モルフェウスの領域』（アツシ14歳、目覚める）

↓

『アクアマリンの神殿』（桜宮学園中等部三年）

↓

『医学のたまご』（東城大学医学部）

3. キーポイント

- ・凍眠八則
- ・「リバーズ・ヒポカンパス」の存在
- ・日比野涼子が出した「依頼」
- ・網膜芽腫治療薬「サイクロピアン・ライオン」
- ・西野のサプライズ

4. まとめ

世界でただ一人のスリーパーとなってしまうモルフェウスを守るために、第一部主人公の日比野涼子が出した結論の内容を、読者は第二部終盤で知ることになる。続編はマニッシュリーパー西野の出した新たな謎にアツシが立ち向かう作品であるので、一読の価値あり。

